

千葉県産高付加価値豚肉「ノンメタポーク」の ブランド展開・販路開拓事業

株式会社サーマス(市川市) × 有限会社 Pig Fertilize 松ヶ谷(旭市)



平成 26 年度

新商品
・新役務・特産品等
開発助成

平成 27 年度

販路開拓助成

平 26・27 年度

農商工連携事業展開
サポート事業
販路開拓(FOODEX)



「メタポではない(non-meta)豚肉」という意味で名付けられたノンメタポークは赤身中の脂身が少なくヘルシーでうまみたっぷり。

■事業の概要

千葉大学発のベンチャー企業であるサーマスでは、次世代プロバイオティクス BP-863 を飲水に投与するシステムで生産された、高たんぱく低脂肪の「ノンメタポーク」を開発・販売していた。

一方 Pig Fertilize 松ヶ谷(松ヶ谷ファーム)では、効率化よりも豚優先の生産方式「スロー養豚」を確立していた。

松ヶ谷ファームにサーマスの BP-863 飲水投与システムを導入し、豚肉のさらなる高付加価値化と、「ノンメタポーク」ブランドのさらなる展開を目指した。

■事業の成果

平成26年度は、飲水投与システムで生産された豚肉について、腸内菌叢の良質化が遺伝子レベルで確認された。また、冷凍技術を改良し、ドリップや肉の柔らかさの点で優位性が確認された。

以降も両者の連携及び県内の食品製造業者等の協力(加工品提供)により、FOODEX JAPN 2015・2016 をはじめとした多数のイベントへの出展や店舗での対面キャンペーンを展開し、ノンメタポークの名前と上質な食味を広く浸透させることができた。

■現状と今後の展望

引き続きイベント出展等を継続し、メディアでも多数取材

され、着実にブランドを育てている。スーパーや通販での取り扱いのほか、県内や都内のレストラン・旅館等でもノンメタポークを使用したメニューを提供中。

今後は、ノンメタポークのほかにもノンメタチキン、ノンメタビーフなどの展開を構想している。

■支援の感想

独自ではなかなか参加のできないイベントに出展でき、多くの方々にアピールできたことが大変プラスとなりました。

(株式会社サーマス マネージャー 白樫康則さん)

株式会社サーマス

代表者	代表取締役 松本二郎
住所	市川市鬼高 4-3-5 京葉ガス F 市川ビル4F
電話	047-393-0525
創業年	平成 25 年
従業員数	11 名
資本金	1000 万円
事業内容	機能性微生物群の管理・供給、健康食材の開発、等
HP	http://www.sermas.co.jp/

有限会社 Pig Fertilize 松ヶ谷

代表者	代表取締役 松ヶ谷裕
住所	旭市萬歳 1210
電話	0479-55-1221
創業年	平成 15 年
従業員数	13 名
資本金	2340 万円
事業内容	養豚の一貫経営
HP	https://ma-am-pig.jp/